

役員公募選考手続報告書（例）

令和 年 月 日

所管所属長様

監理対象団体名

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

記

- 1 役員の役職及び採用することとした者
 役職
 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職
 就任予定日及び任期
 令和 年3月末日時点の年齢（任期の途中に役員として在職させることができる年齢の上限を超えることとなる場合）
- 2 役員選考委員会の構成
 外部委員
 名（内訳：大学教授 名、弁護士 名...）
 内部委員等
 名（うち、大阪市職員及び大阪市退職者〇名）
- 3 役員選考委員会で決定した選考基準
 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法
 一次選考 書類審査
 二次選考 面接
 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数
 別紙のとおり。
- 4 役員選考委員会における選考経過
 令和 年〇月〇日 選考委員全員による一次選考を実施（5名中3名合格）
 〇月〇日 選考委員全員による二次選考（面接審査）を実施。面接終了後、協議して3名中1名を最終合格者に決定
- 5 役員選考委員会における選考結果
 別紙のとおり。
- 6 当該大阪市退職者を役員に採用した理由（当該大阪市退職者が選考委員会の選考結果と異なる者である場合）
- 7 役員としての職務の遂行に支障が生じるおそれがない理由（役員に採用した大阪市退職者が他の監理対象団体の役員を兼ねる場合）